

## 2009年度事業計画（案）

### I. 事業の概要

社団法人教育文化協会は 1995 年 12 月の設立以来、勤労者の文化教養の向上と 21 世紀を展望した自主的・民主的な労働運動の発展に寄与することを目的に、勤労者の生涯にわたる学習、文化活動の支援と時代の要請に応えられる人材の育成に取り組んでいる。

教育・文化・出版の 3 事業の節目ごとの点検や中期的な事業の方向性の検討をとおして、これまで、「幸せさがし文化展」(1998 年度から 2009 年度も含め 6 回開催、日本・中国・韓国 3 カ国美術展も 3 回開催；2004 年度の第 4 回から絵画・写真・書道に俳句と川柳を加え、幸せさがし美術展から改称)や「サウンドウエーブ」(1997 年度から 2005 年度まで 6 回開催<カラオケグランプリ 2 回開催含む>)、「囲碁将棋大会」(1996 年度から 2007 年度まで 5 回開催)などの文化事業、『ものがたり戦後労働運動史(全 10 巻)』をはじめとする連合新書の出版、「女性リーダー養成講座」や「中小企業経営分析講座」などの各種専門講座の開催に加えて、2001 年 5 月からは「Rengo アカデミー・マスターコース」を開講してきた。さらに、教育文化協会設立 10 周年を機に、大学における労働教育も教育文化協会の事業として位置づけ、2005 年 4 月以降、いくつかの大学で「連合寄付講座」を開設してきている。

2009 年度もこれまでの取り組みと同様に、教育・文化・出版の事業活動の基本的な方向性を引き継ぎながらも、取り組むべき事業の選択と集中をはかり、全体として、効率的かつ効果的な事業運営に努める。具体的には、「第 6 回連合・ILEC 幸せさがし文化展」の展覧会の開催のほか、年度をとおして、Rengo アカデミー・マスターコースと連合寄付講座、各種専門講座を中心に、「私の提言－連合論文募集」や関連する出版・広報事業など、労働教育・人材育成関連の比重を高めていく。

第 9 回を迎える Rengo アカデミー・マスターコースは、第 8 回までに 202 名が受講しているが、受講生のなかから、出身組織の委員長、書記長はもとより、連合構成組織の会長、書記長や中央執行委員、地方連合会の事務局長などを担う者も目立ちはじめ、さらには県会議員への転出も含め、一定の成果を上げてきている。今年度も、労働界全体の次代を担うリーダー育成の場として会員組織からの期待に応えられるよう取り組む。

各種専門講座については、連合当該局との共催を基本に、引き続き、「女性リーダー養成講座」と「中小企業経営分析講座」、「社会保障講座」、「労働法講座」の企画・運営に取り組む。なお、「女性リーダー養成講座」については、今年度の第 13

期講座から、基礎コースと応用コースの2本立てで開催する。

連合寄付講座は、2008年度事業報告に記載のとおり、日本女子大学で開設以来、同志社大学、一橋大学、埼玉大学で開設し、現在まで延べ2601名が履修している。2009年度は、引き続き、3年間の設置協定期間内の同志社大学、一橋大学、埼玉大学で開講する。また、新規開設および再協定にあたっては、当該大学の意向を尊重しつつも事務局体制を勘案しながら、これからの連合寄付講座の全体を構想するなかで、連合本部ならびに地方ブロック連絡会と連携し、連合運動の社会的責任(SR；Social Responsibility)の一翼を担えるよう取り組んでいきたい。

第6回連合・ILEC 幸せさがし文化展については、10月8～9日の連合定期大会において、絵画・写真・書道・俳句・川柳の各部門の連合大賞とILEC大賞、20周年記念特別賞受賞者を表彰するとともに、各部門の入賞作品を展示する。

「私の提言－第6回連合論文募集」は、応募締め切り(2009年8月17日)のあと、論文募集運営委員会の論文審査(2009年9月14日)をへて、連合定期大会において入賞者の表彰と入賞者からの提言(要旨)の発表を行う。

今年度はこのほかに、連合から『連合運動史(第4巻)』(対象期間；2004年10月～2009年10月)の編纂作業を受託し、2010年10月6日の第58回連合中央委員会を目途に刊行する。

## 1. 教育事業

### (1) Rengo アカデミー・第9回マスターコース

第9回マスターコースのプログラム作成にあたっては、過去8回取り組んだ経験・反省をふまえ、引き続き、(受講生出身組織の)送り出しやすさと(受講生本人の)参加しやすさを基本に、①講義科目の整理統合と時間配分の適正化、②講義科目の前・後期への効果的な配置、③ゼミナール大会や特別講義など特別プログラムの充実に努め、合宿日程の効果的編成を心掛けた。さらに、マスターコースの正規プログラムのほかに、労働者自主福祉活動に取り組んでいる中央労福協、ろうきん、全労済の活動を紹介する「特別セミナー」を行う。

第9回募集要項は、Rengo アカデミー・マスターコース運営委員会・教務委員会(2009年7月7日開催)で検討・確認したのち、募集を開始する。第9回の学事日程(案)は以下のとおり。

- 募 集 : 2009年8月3日(月)～10月5日(月)
- 前 期 : 2009年11月21日(土)～26日(木)
- 後期 I : 2010年4月17日(土)～20日(火)

- 後期 II : 2010年5月12日(水)～15日(土)
- 修了式 : 2010年8月27日(金)
- \*第8回修了式は2009年9月15日(火)

## (2) 各種専門講座

### ①中小企業経営分析講座(連合中小労働対策局と共催)

中小企業経営分析講座では、連合構成組織や地方連合会、受講希望者の要望をふまえて基礎コースを開催してきたが、2008年度は講師の体調不良のため休講した。

今年度はこれまで同様、基礎コースを開催する。基礎コースでは、財務諸表の読みかたや活用のしかた、労働組合が経営分析に取り組む意義や必要性について、講義と事例、ロールプレイも交えながら学び、決算書が読める活動家の育成をめざす。

- 第15回講座(基礎コース) 開催時期 2009年11月15日(日)～16日(月)
- 開催場所 東京(総評会館)

### ②女性リーダー養成講座(連合男女平等局と共催)

第13期女性リーダー養成講座は、基礎コースと応用コースの2本立てで開催する。基礎コースでは、昨年までの養成講座と同様に、女性役員のエンパワーメント力の向上を目的に、経験交流やアサーティブ・トレーニング、グループワークをとおして、実践的な発言力や企画力・運営力を身につける。また、応用コースでは、これまで女性リーダー養成講座に参加した受講者が、受講後、各職場で課題解決のために具体的にどのように取り組んできたか、それぞれの活動を検証するなかで、より実践的なスキルや行動力を身につけた女性リーダーの育成をめざす。

- 第13期講座(基礎コース) 開催時期 2009年12月4日(金)～5日(土)
- 開催場所 東京

- 第13期講座(応用コース) 開催時期 2010年1月22日(金)～23日(土)
- 開催場所 東京

### ③社会保障講座(連合生活福祉局と共催)

社会保障講座は昨年度に引き続き、現行の社会保障・社会保険制度の基本的役割や仕組みの理解と、保険料や給付額、医療費控除などの実務的な計算方法の習得を目的とする基礎コースを開催する。

○第8回講座(基礎コース) 開催時期 2010年2月上旬頃(1泊2日)  
開催場所 東京

#### ④労働法講座(連合雇用法制対策局と共催)

労働法講座は昨年度に引き続き、労働法制に関する基礎知識の習得と理解促進を目的に、労働契約の意義、労働基準法の原理から労働組合法、労働紛争解決システムまで、各組合が直面する実務面での課題等も取り上げながら、労働法に明るい活動家の育成をめざす。

○第4回講座(基礎コース) 開催時期 2010年2月中旬頃(1泊2日)  
開催場所 東京

#### (3) 連合寄付講座等

##### ①同志社大学

2010年度春学期(2010年4月～7月)「働くということー現代の労働組合」の講義要項の作成と開講準備・運営等に取り組む。

##### ②埼玉大学

2009年度後期(2009年10月～2010年1月)「働くということを考える」の運営と2010年度前期(2010年4月～7月)の講義要項の作成と開講準備・運営等に取り組む。なお、今年度は、連合寄付講座の設置協定の最終年度である。2010年度後期以降については、これからの連合寄付講座の全体を構想するなかで、大学側の意向も考慮しつつ検討する。

##### ③一橋大学

2009年度冬学期(2009年10月～2010年1月)「現代労働組合論Ⅱ；労働組合の課題と取り組み」の運営等に取り組む。なお、一橋大学における連合寄付講座の設置協定は2009年度冬学期までであり、2010年度夏学期(2010年4月～7月)以降については、これからの連合寄付講座の全体を構想するなかで、大学側の意向も考慮しつつ検討する。

##### ④新規開設

連合寄付講座の新規開設については、これからの連合寄付講座の全体を構想するなかで、連合本部ならびに地方ブロック連絡会と連携をはかり対応する。

#### (4) 連合リーダーズ・セミナー

連合、連合総研と連携し、連合総研フォーラムなど、時宜にかなったテーマでの

セミナー開催に協力する。

## 2. 文化事業

### (1) 第6回連合・ILEC幸せさがし文化展

第6回連合・ILEC幸せさがし文化展は、連合20周年記念事業のひとつとして取り組んできている。絵画・写真・書道・俳句・川柳の各部門の入賞作品は、7月28日の第4回実行委員会で確認したのち、7月31日に教育文化協会のホームページで発表し、9月2日の第23回連合中央執行委員会に報告する。10月8～9日の連合定期大会において、各部門の連合大賞とILEC大賞、20周年記念特別賞の受賞者を表彰するとともに、入賞作品を会場に展示する。入賞作品集(図録)は連合大会にあわせて発行する。

第7回連合・ILEC幸せさがし文化展については、2010年6月に実行委員会を立ち上げて準備に取りかかる。

## 3. 出版・広報

### (1) 連合新書

昨年度から継続して取り組んできている「労働者福祉論—各論(仮称)」を、連合新書No.17；高木郁朗編『共助と連帯—労働者自主福祉の現状と課題—』としてまとめ、2009年10月に発行する。また、「労働組合必携シリーズII」として、連合新書No.18；中村圭介著『地域で結ぶ(仮称)』を2010年5月頃に発行する。

### (2) R e n g o アカデミー・マスターコース修了論文集および講義録

第8回マスターコース修了論文集を作成し、2009年9月15日の修了式に配布する。

講義録については、2009年10月に、No.14；田端博邦元東京大学教授「国際比較から見た日本の労使関係」を、2010年3月に、No.15；橋元秀一國學院大学教授「組合機能の点検と改革」をそれぞれ刊行する予定。

### (3) 連合寄付講座の講義要録

昨年度に同様に、一橋大学と埼玉大学、同志社大学における連合寄付講座の講義要録を作成し、大学と教育文化協会のホームページにそれぞれ掲載する。

#### (4) 労働・社会関係書籍の紹介

連合、連合総研および法政大学大原社研と連携し、労働運動や労働社会問題等に関連する書籍を選定し、その内容をホームページで紹介する。そのため、教育文化協会内に、高木郁朗理事を主査とする「書評委員会」(仮称)を設置し作業にあたる。

#### (5) 教育文化協会紹介パンフレットの作成、ILEC 通信の発行

ILEC 通信やホームページを活用して、教育文化協会の活動を節目ごとに紹介する。また、教育文化協会の活動案内パンフレット「働く仲間を教育・文化事業で応援します」(2006年6月発行)の改訂版を作成・発行する。

#### (6) 『労働運動史事典』の編纂協力

『労働運動史事典』は編集委員会(代表幹事 高木郁朗理事)で作業を進めているが、昨年度に引き続き、編纂作業に協力する(総項目3000項目程度、本文1100頁、研究者のほか、組合リーダーや実務担当者約100名が執筆にあたる予定)。

### 4. 「私の提言－連合論文募集」

連合から受託し論文事業として取り組んでいる「私の提言－第6回連合論文募集」は、2009年8月17日に応募を締め切り、9月14日の論文募集運営委員会の論文審査をへて、2009年10月8～9日の第11回連合定期大会において入賞者の表彰と入賞者からの提言(要旨)の発表を行う。あわせて、入賞論文集を発行する。

なお、第7回連合論文募集は、2010年5月20日の第8回連合中央執行委員会で募集要項を確認し、募集を開始する。

### 5. 『連合運動史第4巻』の編集・刊行

連合から受託する『連合運動史第4巻』(対象期間;2004年10月～2009年10月)の編集作業に取り組む。2010年10月6日の第58回連合中央委員会を目途に刊行する予定。

### 6. 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革への対応については、連合、連合総研、JILAFと連携を取りながら、専門家の意見を参考にしつつ、本格的に準備を進める。